

「地域課題分野」（平成29年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
落差工周辺の河床構造物の安定性評価のための水・地盤連成解析手法の高度化	長岡技術科学大学 大塚 悟	A
<p data-bbox="199 533 391 566">&lt;研究概要&gt;</p> <p data-bbox="199 622 1394 795">本研究では、河川における河床構造物の安定性評価を目指して河川および地盤工学の技術を結集して室内実験および数値解析を用いた研究を行った。2次元長水路を用いた落差工の流水実験では護床ブロックや河床材料の変状の特性を調べ、圧力や流速の特性を評価した。さらに落差工を越流する流れと本体下部の浸透流を同時に評価する非定常の流体数値モデルや粒子法による評価を行った。</p>		
<p data-bbox="199 1086 518 1120">&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p data-bbox="199 1176 438 1209">A評価のためなし</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B：一定の研究成果があった。
- C：研究成果があったとは言い難い。